

令和4事業年度

事業計画書

日本中央競馬会

# 日本中央競馬会令和4事業年度事業計画

## I 事業運営の基本方針

### 1. 経営の基本方針について

JRAでは、事業運営を行っていくうえで、具体的な施策の構築、事業執行などの指針とするために、「経営の基本方針」を定めています。「令和4事業年度事業計画」は、この「経営の基本方針」に基づき策定しています。

#### 経営の基本方針

JRAは、毎週走り続けます。

##### ○お客様とともに

私たちは、お客様を第一に、皆様にご満足いただけるよう取り組んでいきます。

##### ○夢と感動とともに

私たちは、レースの迫力、馬の美しさ、推理の楽しみが一体となった競馬の魅力を高め、夢と感動を皆様にお届けします。

##### ○信頼とともに

私たちは、快適で安全な環境のもと皆様から信頼される公正な競馬を着実に実施していきます。

##### ○社会とともに

私たちは、皆様に親しまれる競馬の開催を通じて、社会への責任を果たしていきます。また、馬文化の発展や環境への取組みなども行っていきます。

##### ○そして未来へ

私たちは、歴史と伝統のある競馬の発展に努め、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬を皆様とともに創造していきます。

## 2. J R A を取り巻く環境

令和3年10月内閣府発表の月例経済報告によると、景気は「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。」とされており、先行きについては、「感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある」とされています。

また、同じく令和3年10月内閣府発表の景気動向指数（8月分）のうち、一致指数は前月と比較して2.9ポイント下降し、2か月連続の下降となりましたが、一致指数の基調判断は「改善を示している」とされています。

このような状況の下、令和3事業年度の中央競馬については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらも、発売金・お客様総数ともに堅調に推移しています。ただし、先行きが不透明な現在の状況が続くと、馬主や生産者も含めた競馬サークル全体へも様々な影響が及ぶ可能性は否定できず、また、中長期的には発売金が減少していくことも懸念されます。加えて、近年の夏季における気温上昇や自然災害の増加、少子高齢化の一層の進行やこれに伴う生活スタイルの変化、雇用や労働環境の多様化、デジタル化の急速な進展等がJ R Aの事業運営をはじめ競馬産業全体に大きな影響を及ぼすことも懸念されることから、決して楽観視できない状況です。

## 3. 令和4事業年度の取組みとJ R Aが目指す方向性について

令和4事業年度経営目標については、将来にわたる事業運営の安定化と経営基盤の強化を図るとともに、競馬の施行を通じた社会貢献を果たしていくことを目指し、「事業運営の根幹となる開催日数288日（36開催）の競馬の着実な実施」と「魅力ある競馬開催によるお客様総数の拡大・対前年比100%超・」を基本目標として掲げています。J R Aでは、競馬の魅力をもっと向上させるとともに、お客様の獲得と定着化を図るため、競馬番組の充実と質の高い競走の提供をはじめとした様々な施策を実施します。

また、あらゆる事業活動において、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底するとともに、所謂「ウィズコロナ」「アフターコロナ」における社会・経済の構造的な変化や人々の価値観・行動様式の変化に適切に対応した「新しい競馬の楽しみ方」の提供や業務運営の効率化、社会全体の利益に資する施策についても、未来視点をもって積極的に取り組みます。

さらに、事業運営の方向性としては、J R Aさらには競馬産業全体が安定的かつ持続的に発展していくことが重要であり、そのためには、競馬の施行が環境や経済など社会全体に与える影響とJ R Aを取り巻く環境を意識しつつ、競馬の社会的基盤を強化していくことが必要となります。こうしたことから、

今後とも、お客様からも社会からも「信頼される存在」であり続けること、JRA及び競馬産業の事業基盤を強化していくこと、中央競馬事業の運営等に必要な原資を安定的に確保していくことに取り組んでまいります。

## Ⅱ 令和4事業年度の具体的計画

### 1. 魅力ある競走の提供

お客様に長期にわたって中央競馬を楽しんでいただくためには、常に魅力ある競走を提供していくことが重要です。一方で、競馬番組に基づき行われる競走は、競走馬のサイクル（生産→育成→調教→競走→生産還元）の中核を成す重要なステージでもあります。

こうした観点から、

- ① 競走馬の国内生産に立脚した競馬を基本としつつ、内国産馬と外国産馬が競い合いながら、頂点のG I競走へ向かうというシンプルでわかりやすい競走体系を構築すること
- ② 優勝劣敗の原則に基づいた競走・賞金体系を構築し、質が高く、能力の拮抗した出走馬による内容・出走頭数の充実した競走を提供すること
- ③ 次世代に伝えるべき優良馬の選択という競走の原点を踏まえ、G I競走等において内外の有力馬が集結し、中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして世界の競馬地図の中に位置付けられること

を念頭に、魅力ある競走の提供のための各種施策に取り組みます。

#### (1) 開催計画

1月5日（水）から12月28日（水）の間に、延べ288日（36回）の競馬を全国9か所の競馬場において開催します。

また、より多くのお客様にご参加いただくため、1月10日（祝・月）、3月21日（祝・月）、9月19日（祝・月）及び10月10日（祝・月）に競馬を開催します。

これらに加え、京都競馬場整備工事等の影響を踏まえ、各競馬場の開催回数及び開催日数は以下のとおりとします。

競馬場	札幌	函館	福島	新潟	中山
開催回数	2	1	3	4	5
開催日数	14	12	20	26	42

競馬場	東京	中京	京都	阪神	小倉
開催回数	5	6	0	6	4
開催日数	45	45	0	54	30

なお、天災地変その他やむを得ない事由により当初の計画どおり開催することができない場合には、競馬法（昭和23年法律第158号）第3条の規定に基づき競馬法施行規則（昭和29年農林省令第55号）第2条で定められている範囲又は日取りで開催計画を変更して開催します。

## **(2) 重賞競走の改善**

### **① 葵ステークスのGⅢ格付け**

平成30年に重賞競走として新設された葵ステークス（重賞）のGⅢ格付けについて、日本グレード格付管理委員会に申請中であり、承認が得られた場合、新たに格付けを行います。

### **② 開催日割の変更に伴う実施日及び実施場の変更**

開催日割の変更に伴い、一部重賞競走の実施日及び実施場を変更します。

## **(3) 国内における国際競走への国内外の一流馬の参加促進**

国内における国際競走が魅力ある競走となるよう、「ジャパン・オータムインターナショナル」をはじめとしたGⅠ競走の更なる振興を図るとともに、東京競馬場に国際厩舎を新設するなど、一流の外国調教馬の参加を促進するための取組みを行います。

## **(4) 国際的な交流の推進**

日本馬が海外の競走に出走する際には関係者への協力を行うほか、帰国後速やかに国内競走への出走態勢を整えられるよう取り組みます。

また、円滑な国際交流を進める基盤整備の一環として、関係各国と連携して、競走に関する諸ルールの国際的な調和及び馬の移動に関する諸ルールの整備等に取り組みます。さらに、国際ルールに基づく競走馬の評価システムの運用及び競走の品質管理を通じ、我が国の競馬と競走馬に対する適正な国際的評価の保持を図ります。

## 2. 競走馬の資質・能力の向上等への取組み

能力の高い競走馬が出走する質の高い競走を提供することは、JRAの事業運営の根幹と言えます。このため、競走馬の生産育成、事故防止、暑熱対策等に加え、競走関連施設の充実、馬主活動の促進、厩舎関係者の養成等にも積極的に取り組めます。

### (1) 競走馬の育成を通じた取組み

JRAが生産した馬（JRAホームブレット）及び1歳市場で購入した馬を、日高・宮崎の育成牧場において育成し、生産からのプロセスを含む育成方法の研究や技術開発を行い、その成果を競馬サークルへ普及・啓発します。また、育成した競走馬（JRA育成馬）を売却するJRAブリーズアップセールを開催します。

### (2) 生産育成基盤の強化

強い馬づくりを推進し、競馬の国際交流の進展に対応し得る生産育成基盤の強化を図るため、軽種馬生産育成の振興に係る諸事業への支援や諸団体への協力を行います。また、国内生産馬の海外への販路拡大に対する支援に取り組めます。

### (3) 競走馬の保健衛生対策

競走馬診療所の業務を着実に実施し、最適かつ高度な獣医療を提供します。また、競走馬の能力向上に資する研究や競走馬の能力を最大限に発揮させるための獣医療技術の研究を行うとともに、その成果を普及していきます。

### (4) 競走馬の事故防止対策

事故防止に資する調査研究や馬場に関する研究を行うとともに、その成果を普及・啓発します。また、競馬場やトレーニング・センターの馬場の保全管理等を着実に実施します。

### (5) 競走馬の暑熱対策

暑熱対策として、競馬場の厩舎への空調設備の新設などの施設整備を行うとともに、夏季において、下見所の周回時間短縮等の取組みを実施します。また、競走馬の熱中症予防に関する研究を進めるとともに、研修等を通じて厩舎関係者への啓発を行います。

## (6) 防疫体制の整備

馬インフルエンザをはじめとする馬伝染病のまん延を防止するため、入厩検疫を着実に実施し、予防接種等の各種防疫措置を講じるとともに、海外からの馬伝染病の侵入を防止するため、海外の馬伝染病の発生状況を把握し、適切な防疫体制の整備を行います。また、防疫のための調査研究を行い、防疫体制の強化を図ります。

## (7) 競走関連施設の充実

質の高い競走の提供に資するため、美浦トレーニング・センターにおける厩舎の改築や坂路馬場の改造、栗東トレーニング・センターにおける検疫厩舎の改築や追馬場の新設等の工事を行います。

## (8) 馬主活動の促進

将来にわたりお客様に魅力ある競走を提供するためには、安定的な馬主数の確保が重要であることから、馬主の新規開拓と活動促進に取り組みます。

## (9) 厩舎運営の活性化

より質の高い充実した競走を提供するためには、厩舎運営の更なる活性化及び競争性の確保が必要であることから、厩舎運営に関する各種制度の適正な運用及び運用状況の検証等を行い、総合的な改善に取り組みます。

## (10) 厩舎関係者の養成等

### ① 騎手及び厩務員の養成

競馬学校において、より質の高い騎手・厩務員を安定的に送り出すために、養成システムを充実させ、実践的かつ体系的な指導・教育を行うとともに、将来的な少子化を踏まえた人材確保に取り組みます。

### ② 若手騎手の育成

見習騎手に対して、技術及び知識の向上を図るため各種研修等を実施するとともに、騎乗数の増加及び騎乗技術の向上を図るため、中央・地方所属の見習騎手による「ヤングジョッキーズシリーズ」を引き続き実施します。

### ③ 競馬に携わる職業への興味喚起と希望者の拡大

各事業所におけるスポーツ少年団の活動等の馬事普及を通じて、競馬に携わる職業への興味喚起と希望者の拡大を図ります。

### ④ 厩舎関係者への研修等

厩舎関係者に対して、各種研修等を実施し、技術及び知識の向上を図ります。



### 3. 競馬の公正確保の徹底

お客様に中央競馬を安心してお楽しみいただけるよう、競馬の公正確保及び安全確保に万全の態勢を整えます。また、JRAが行う登録・免許業務について、厳正に実施します。

#### (1) 登録・免許業務及び制裁等の厳正な実施

馬主・競走馬・服色の登録及び調教師・騎手に対する免許業務について、法令の定めるところにより、学識経験者である公正審査委員の意見を聴いたうえで、厳正に実施します。

また、競馬の公正を確保していくうえで必要な制裁や処分を厳正に行います。

#### (2) 競馬に対する信頼の確保に向けた取組み

お客様から信頼される競馬であるためには、競馬に関する不正事案を未然に防止することが不可欠であることから、常に保安体制の整備や注意喚起等適切な対応を行います。

##### ① 薬物の不正使用事案等の未然防止

薬物の使用については、関係者への指導・研修を実施するとともに、不正使用の事案が発生した場合には、警察等関係機関に協力し、厳正な対応を行い、競馬の公正確保を堅持します。

また、禁止薬物等の飼料への混入防止や規制薬物の管理の徹底に努めるとともに、競走馬の薬物規制について、国際協調に向け制度の整備を行います。

##### ② 反社会的勢力排除への取組み

競馬の公正かつ安全な実施に影響を及ぼすおそれのある反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、徹底的にこれを排除します。

##### ③ 自主警備体制の整備

厩舎エリアの警備の強化を図るため、競馬場やトレーニング・センターの厩舎地区等に監視カメラを順次設置するとともに、お客様エリア等の施設内における安全確保や違法行為の防止措置等を適切に実施します。

#### (3) 審判関係業務の改善等

裁決事項に関する国際協調を推進するため、国際会議等を通じて、海外競馬主要国との相互理解を深め、各国共通で運用可能なルールを策定するとともに、地方競馬全体を管理・統括する地方競馬全国協会との裁決事項に関する協調策について必要な改善を図ります。

また、JRAホームページでの裁決結果や制裁内容の公表、パトロールビデオの公開等によりお客様への情報提供の充実を図ります。

#### 4. 競馬への参加促進及び販売促進

将来にわたりより多くのお客様に競馬に参加していただけるよう、テレビやWEBサイト等の各種メディアを通じた広報活動や多様なコンテンツの提供等により、競馬のイメージ向上と話題喚起を図り、幅広い層の参加を促します。

また、お客様により競馬を楽しんでいただくため、現金投票及び電話・インターネット投票の利便性の向上や販売ネットワークの拡充等を図り、勝馬投票券をより購入しやすい環境の整備に取り組むとともに、お客様への情報提供を充実させ、競馬の魅力を多くの方にお届けします。

なお、競馬場やウインズ等においては、「新型コロナウイルス感染症に係る安全な競馬開催のための基本的な考え方」に基づき、感染対策を徹底します。

##### (1) プロモーションの展開

###### ① 広告プロモーションの展開

競馬のイメージ向上や競馬への参加意欲向上のため、競馬の楽しみ方やレースの迫力、馬の美しさ等、競馬の魅力を伝えるプロモーションをテレビやWEBサイト等、各種メディアで展開します。

###### ② G I 競走等のプロモーション

競馬の魅力を訴求し、より幅広いお客様の参加促進を図るため、競走体系の頂点であるG I 競走を中心に、様々な媒体で効果的にプロモーションを実施します。

###### ③ 海外競馬のプロモーション

お客様の注目度及び参加意欲の向上を図るため、J R Aで勝馬投票券を発売する海外競馬について、迅速かつ十分な情報提供とレース映像等の確実な放送に取り組みます。

また、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の魅力を幅広く伝えるとともに、新たなお客様の参加促進を図るため、世界を舞台に活躍する日本馬及び世界のトップホースに関する情報発信やパブリシティの強化を行います。

###### ④ その他WEBサイトの展開

今まで競馬への関心がなかった方々から、毎週競馬に参加いただいているお客様まで、重層的なアプローチを行うプロモーションサイトを軸としたWEBコンテンツや、Facebook、Instagram、YouTube等の様々なツールを活用し、中央競馬の話題が拡散するよう取り組みます。

また、競馬の楽しみ方を知っていただくため、「UMA J Oサイト」やオンライン形式の「ビギナーズセミナー」を展開します。

## (2) 広報活動の展開

### ① 競馬中継の安定的な提供

お客様にレース映像や情報を提供するとともに、競馬認知度向上や話題喚起に資するため、テレビ・ラジオによる競馬中継を安定的に提供します。

### ② パブリシティ活動の充実

「JRA」の認知度向上や競馬に関する話題喚起を図るとともに、お客様への適切な情報発信を行うため、各種メディア等への効果的な情報提供等を実施します。

## (3) 競馬場・ウインズ等の活性化

競馬場やウインズ等は、ライブ感を持って競馬を楽しんでいただくことができる場所であり、多様なお客様層に応じた情報やサービスの提供が可能であることから、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、その立地や特性を活かした施策を実施します。

特に、開催競馬場は、競馬の魅力を様々な角度からPRすることができる最も重要な拠点であることから、その魅力向上と多様な情報発信に努めます。

また、指定席の効果的な活用を図るため、弾力的な指定席料金を設定するとともに、ネット予約の対象を拡大します。

## (4) 勝馬投票の利便性の向上

競馬場やウインズ等における勝馬投票の利便性及びサービスの向上を図るため、UMACA投票について、さらなる新規加入者の獲得や利用促進に向けた新たなサービスの検討を進めます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染対策も踏まえ、「スマッピー投票」(QRコードを利用)等について、お客様への告知や案内等を充実させることで、更なる普及と利用拡大を図ります。

## (5) 払戻金施策

### ① 払戻金の上乗せ

特定日の指定した競走・投票法において、通常の払戻金に売得金の5%相当額を上乗せする「JRAプレミアム」を実施します。

また、すべての競走・投票法において、通常の払戻金が100円元返しとなる場合に、売得金の範囲内で、払戻金に10円を上乗せする「JRAプラス10」を実施します。

## ② 払戻率の設定

払戻率は引き続き以下のとおりとします。また、特定の日には特別な払戻率「JRAスーパープレミアム」を設定します。

単勝	複勝	枠連	馬連	ワイド	馬単	3連複	3連単	WIN5
80.0%	80.0%	77.5%	77.5%	77.5%	75.0%	75.0%	72.5%	70.0%

## (6) 電話・インターネット投票会員の加入促進及び会員向けサービスの充実

引き続き、電話・インターネット投票会員への加入を促進します。また、サポート体制や会員向けサービスの充実に取り組みます。

### ① 電話・インターネット投票会員の加入促進

「簡単、直ぐに加入、投票できる」、「WIN5、海外競馬を購入できる」インターネット投票の魅力をもっとPRすることで、「即PAT」を中心に更なる加入促進を図ります。

### ② サポート体制の充実

電話・インターネット投票に関する様々なお問合せに的確にお答えするため、電話、メールを用いたお問合せ対応体制や、JRAホームページによる情報提供の充実を図ります。

また、安定的なお問合せ対応が可能となるよう、新たなPATサービスセンターの設置について検討を行うとともに、最新技術を活用したお問合せ対応等の実現に向けて調査・研究を進めます。

### ③ 電話・インターネット投票会員向けサービスの充実

顧客満足度の向上及び電話・インターネット投票の継続的な利用に向けて、電話・インターネット投票会員専用の登録制WEBサービス「Club JRA-Net」への登録を促進するとともに、会員限定サービス、各種キャンペーン等によるフォローアップサービスの充実を図ります。

### ④ 電話・インターネット投票の利便性の向上

高齢者等のお客様にとって、より勝馬投票券を購入しやすい環境を整えるため、利便性の高い最新技術の調査・研究を行います。

## (7) JRAアニバーサリーの実施

日頃から中央競馬をご愛顧いただいているお客様に感謝の意を表するとともに、JRAのこれまでの歴史を振り返る日として、9月19日(祝・月)に「JRAアニバーサリー」を実施します。

## (8) 販売ネットワークの拡充

新規のお客様をはじめとしてより多くのお客様の競馬への参加機会の拡大を図るため、地方共同トータリゼータシステムを活用した地方競馬施設（J-PLACE）での委託発売や、従来の場外発売施設のあり方や形態に捉われない効果的かつ効率的な販売ネットワークの拡充に向けて取り組めます。

## (9) お客様への情報提供の充実

### ① レース映像の充実

より鮮明で迫力のあるレース映像を提供し、ライブ競馬を充実したものとするため、特定の日においては、引き続き車載カメラやヴァーチャルカメラ、スーパースローカメラ等の特殊カメラを活用します。

### ② JRAホームページの充実

競馬に関する様々な情報の提供を行っているJRAホームページについて、操作性・視認性を改善するとともに、提供する情報の充実を図ります。

## (10) お客様関連施設の充実

### ① 京都競馬場整備工事

令和7年に開設100周年を迎える京都競馬場について、令和2年度に着手した「グランドスワン」の改築をはじめ、馬場の路盤更新や厩舎の改築等の整備工事を引き続き行います。

### ② 阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事

お客様により快適かつ安全に競馬を楽しんでいただける環境を整えるため、阪神競馬場のスタンドリフレッシュ工事を行います。

### ③ 宮崎育成牧場諸施設整備工事

施設等が老朽化した宮崎育成牧場の諸施設整備工事の一環として、ウインズ棟の改築や公園地区の整備、駐車場の拡充等を行い、さらなる安全性や利便性等の向上を図ります。

### ④ 各種映像装置の更新

競馬場のターフビジョン及び競馬場のパドックに設置されている屋外表示装置の更新を順次進めます。

## 5. ホスピタリティの向上

競馬場やウインズ等にご来場されたお客様により快適に競馬を楽しんでいただくため、接客マナーの向上を図り、競馬初心者の方をはじめ多様なお客様層に応じた接客応対を実施するとともに、観戦環境の充実に取り組み、ホスピタリティの向上に努めます。

### (1) 接客体制の充実

競馬場やウインズ等に来場されたお客様に楽しんでいただけるよう、接客マナーの向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえた接客体制の充実に努めます。

#### ① 接客応対の改善

スタッフそれぞれが専門の役割・業務を全うし、お客様一人ひとりに誠実できめ細やかな対応をするため、接客改善に向けた研修の実施やマニュアルを整備するなど、接客応対の改善を図ります。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえた接客を実施します。

#### ② インフォメーション機能の充実等

お客様の多様なニーズに即応した良質できめ細やかなサービスや情報を提供できるよう、インフォメーション機能を充実させます。

### (2) 観戦環境等の向上

競馬場に来場されたすべてのお客様が快適かつ安全に競馬を観戦できる環境の整備に向けて、館内の空調及び照度を適切に設定します。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底します。

さらに、受動喫煙の防止対策を推進するとともに、観戦マナー向上の啓発やクリーンキャンペーン、場内装飾による環境美化等に取り組み、観戦・購入・滞在環境の充実に努めます。

## 6. 馬事振興

我が国の馬文化を支え、競馬を健全に発展させるため、馬事文化の発展や乗馬の普及につながる取組みを積極的に行い、馬事の振興に努めます。

### (1) 乗馬の普及

乗馬人口の拡大を図るため、各事業所において、初心者乗馬教室の開催やスポーツ少年団の活動等を通じて、乗馬を行う機会を提供します。また、競馬開催時には、お客様に「馬」への理解を深めていただけるよう、体験乗馬や馬車試乗会等、馬と触れ合うイベントを実施します。

### (2) 引退競走馬のセカンドキャリアの促進支援

引退競走馬の利活用促進及び福祉の充実を図るため、乗用馬や競技馬への転用等、セカンドキャリア促進を支援するとともに、これに資するリトレーニング技術の研究・検証に取り組みます。また、障害者乗馬やホースセラピー活動の支援等に取り組み、引退競走馬をはじめとする馬の多様な利活用の促進を図ります。

### (3) 馬術の振興

馬術の振興及び技術の向上を図るため、馬術競技会の開催や馬術競技等に関する諸事業への協力を実施するとともに、こうした取組みにより、競馬開催や馬術の指導等の業務に必要なJRA職員その他競馬関係者の技術の向上を図ります。

また、馬術競技への更なる興味喚起を図るため、映像情報の提供等、馬術競技の積極的な情報発信に努めます。

### (4) 馬事文化の発展への寄与

「馬の博物館」及び「競馬博物館」における展示、「JRA賞馬事文化賞」の表彰等を通じて、馬事文化の発展に寄与するとともに競馬への理解を促進します。また、全国各地に伝わる伝統馬事芸能等の馬事文化や在来馬種の保存に協力します。さらに、競馬情報発信基地「Gate J.」（東京・大阪）を通じて、競馬や馬に関する幅広い情報を提供します。

### (5) JRA馬事公苑の整備

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の馬術競技会場として使用したJRA馬事公苑について、今後の日本の馬事振興の拠点に相応しい施設とするため、整備工事を行います。

## 7. 持続的な発展に向けた取組み

中央競馬の持続的な発展のために、社会貢献活動、環境問題及び信頼される組織の運営に積極的に取り組み、これらを広く社会に伝えることで、社会に愛され信頼される中央競馬を目指します。

### (1) 社会貢献活動

#### ① 地域社会との連携・協調

各事業所において防災意識の向上を図るとともに、防災備蓄品を十分確保するなど、広域避難場所として指定されている競馬場をはじめとした各事業所において、地域社会の防災対策に貢献できるよう取り組みます。

また、競馬場等の事業所周辺において、「馬」を利活用した地域のイベント等への協力や地域住民の皆様楽しんでいただける催し物等、地域に根ざした様々な取り組みを行い、地域社会との連携・協調を図ります。

#### ② 事業所周辺の整備に関する取組み

競馬開催日における競馬場やウインズ周辺地域の交通対策を適切に実施することにより、地域社会との良好な関係づくりに努めます。

また、競馬場やウインズ周辺の道路整備をはじめとする事業所周辺の環境整備に協力します。

#### ③ 畜産振興への支援（畜産振興事業）

畜産分野に係る喫緊の対応が必要な事業や安全・安心な畜産物の供給に関わる事業、馬の防疫体制の整備、激甚災害の被災地に対する事業支援等、畜産の振興に資するための事業に関し、特別振興資金を活用して交付金を交付します。

また、各事業の実施に際しては、団体に対し事業成果の普及を促進するとともに、前年度終了事業を評価し、その結果を公表します。

### (2) 環境への取組み

JRAでは、自然や生き物からの恵みを享受して事業活動を行っていることに鑑み、地球環境と地域環境の保全を通じて持続可能な社会の構築に貢献するため、事業活動に伴い生じる環境への負荷を極力抑制しながら環境との調和を図ります。

また、事業活動に伴う環境負荷を限りなくゼロに近づける「ゼロ・エミッション」の将来的な達成に向けた取組みを推進します。

#### ① 資源循環型社会の構築への貢献

競馬事業に伴い発生する排出物の総量を抑制します。また、競馬開催に伴う排出物や事務エリアで発生する排出物のリサイクルを推進します。



## ② 地球温暖化防止

全体的なエネルギーコントロールや省エネルギー機器の導入等により、事業活動に伴う温室効果ガスの排出を極力抑制します。

また、太陽光発電システムや、トレーニング・センターで発生する使用済み馬房敷料を燃料として利用するバイオマス燃焼発電プラントの安定的な運用等、自己保有施設で創出する再生可能エネルギーの利用により、温室効果ガスの排出量を抑制します。

## ③ 地域社会との調和

周辺清掃や、周辺道路の交通対策等を適切に実施し、事業所周辺の環境への負荷を極力抑制します。

## ④ 環境マネジメントの推進

環境関連法令を遵守するとともに、組織的な環境マネジメント体制を構築・堅持します。また、廃棄物の適正処理の徹底や、競馬場やウインズにおけるクリーンキャンペーンをはじめとした環境コミュニケーションの適切な実施等に取り組みます。

## (3) 組織の運営等に関する取組み

### ① 法令順守と透明性の確保

#### i) コンプライアンスに関すること

法令・社会規範の遵守や企業倫理の徹底等により、J R Aの事業運営及び役職員の日々の行動が十分な適正性を有し、社会的な信頼を確保するものとなるよう、引き続きコンプライアンス体制を整えていきます。

#### ii) 個人情報、法人文書等の管理に関すること

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」

「公文書等の管理に関する法律」の規定に基づき、J R Aの保有する個人情報、法人文書等を適切に管理します。

#### iii) 情報公開に関すること

「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」等の規定に基づき、J R Aの保有する法人文書の開示請求等に適切かつ迅速に対応します。また、J R Aホームページ等を活用し、J R Aの経営に関する情報等を公開し、透明性・信頼性等を確保するとともに企業イメージの向上を図ります。

#### iv) 契約・入札等に関すること

契約・入札の更なる適正化に向けて、不断の点検を行い、契約の競争性の向上を図るとともに、契約手続の透明性を確保するため工事の発注及び調達に関する情報等についてJ R Aホームページに公開します。

## ② 危機管理体制の強化

将来にわたり安定的かつ持続的な事業運営を行うため、大規模自然災害発生等を想定した事業継続体制の構築に取り組みます。

特に、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、厩舎関係者や役員など競馬サークル全体で感染対策を徹底します。

また、引き続き本会施設の防火防災体制の強化を図ります。

## ③ 情報セキュリティの確保

不正アクセスや情報漏えい等のもたらす影響の重大さに鑑み、国のセキュリティ対策機関と連携して、最新の対策に関する情報収集に努めるとともに、情報セキュリティに関する研修や技術的な対応の推進、外部機関の点検による評価を行うことで、常時、情報セキュリティ体制の維持に取り組みます。

## ④ コンピューターシステムの更新及び全体最適化

競馬開催及び事業運営に関わるコンピューターシステムについて、信頼性・安定性確保の観点から必要な機器の更新を行います。また、併せて効率的なコンピューターシステム運用及びコスト削減を図るため、仮想化等の技術を適宜活用し、引き続きコンピューターシステムの全体最適化を進めます。

## ⑤ 国際協調及び国際協力の充実

国際競馬統括機関連盟副会長国として、各国関係組織・機関と連携・協調し、競馬の健全な発展に貢献するとともに、同連盟とのパートナーシップを通じ、国際競馬社会における日本競馬の位置付けを確固たるものとするよう努めます。また、アジア競馬連盟副会長国として、近隣アジア諸国と幅広く交流及び連携するとともに、我が国を含めた域内全体の競馬のより一層の発展に貢献するよう努めます。

さらに、国境を越えて行われる違法賭事について、海外競馬統括機関等と協調し必要な対応を行います。

加えて、交換競走を通じて、各国主催者との交流や情報交換を促進し、相互理解を図ります。

## ⑥ 次世代育成

幼少期から馬に対する理解を深めていただけるよう、小学校や幼稚園等の教育機関に馬を派遣して馬とのふれあいを楽しんでいただくとともに、教育施設としても注目を集めるキッザニア甲子園に「ホースパーク」パビリオンを出展します。また、全国各地で乗馬に励む子供達が参加できる「ジョッキーベイビーズ」を開催します。

さらに、大学と連携した講義に積極的に取り組み、競馬や馬文化への理解醸成やスポーツエンターテインメントとしての競馬の認知度向上を図るほか、獣医系・畜産系学生を対象に研修セミナーを実施し、馬獣医療等に携わる人材養成に協力します。

## ⑦ ギャンブル等依存症対策

安心して中央競馬をお楽しみいただける環境を提供するため、ギャンブル等依存症対策基本法に基づき閣議決定されたギャンブル等依存症対策推進基本計画等を踏まえ、研修等を通じて役職員が正しい知識に基づく認識を持つとともに、お客様への注意喚起・知識の普及啓発、お客様からの相談対応体制の整備、競馬場・ウインズ等への入場制限、電話・インターネット投票の利用停止や購入上限額の設定等を引き続き実施します。

## ⑧ 勝馬投票に関わる違法行為等の防止

勝馬投票に関わる違法行為の防止に積極的に取り組むとともに、違法行為があった際は、厳正に対処します。

### i) ノミ行為、違法インターネット賭事、悪質な競馬情報提供会社による被害等の防止

ノミ行為や違法インターネット賭事等の違法行為の防止のため、JRAホームページ等の各種媒体を通じてお客様への注意喚起を積極的に行うとともに、これら違法行為等に関する情報を収集し、警察等関係機関と連携を強化するなど、違法行為の防止に努めます。

また、競馬情報提供会社等に関する情報の収集に努め、悪質なものに対しては、必要な措置を講じるとともに、各種媒体を通じてお客様への注意喚起を行います。

### ii) 20歳未満の者の勝馬投票券購入防止

20歳未満の者が勝馬投票券を購入することのないよう、レーシングプログラムやポスター等で周知を図るとともに、競馬場やウインズ等における確認・注意喚起を徹底するなど、適切な対策を講じます。

## ⑨ 中央競馬への信頼の確保に向けた取組み

厩舎関係者の持続化給付金不適切受給事案を踏まえ、再発防止のため、厩舎関係者に対する研修の強化や内部通報専用のホットラインを開設するとともに、外部委員を含むメンバーにより構成される委員会を設置し、こうした取組みの検証・評価を行います。

また、競馬関係者について、コンプライアンスに対する意識の徹底を図るとともに、中央競馬の信頼を損なうような行為のあった競馬関係者に対する適切な対応について検討を進めます。

## ⑩ その他の取組み

### i) 効率的・安定的な事業運営

事業運営の更なる効率化を図るため、経費負担を抑制する取組みの継続的な実施に加え、柔軟で効率的な働き方の検討を行うとともに、将来にわたり安定的に事業運営を行うため、組織の一部見直しを行います。

**ii) 人材育成の充実**

今後の中央競馬事業の発展につなげる施策を着実に実施していくため、人材育成の充実を図ります。

**iii) 経営資源の有効活用**

J R Aのインターネット投票システムを活用した地方競馬の競走の受託発売を安定的に実施するなど、経営資源の有効活用に努めます。

**iv) 社会貢献活動や環境への取組み等に関する発信**

J R Aの社会貢献活動や環境への取組み等について、それらの認知度向上や理解促進を図るため、各種メディアを通じてより広く社会に発信します。